

自由民主党蒲郡市議団
代表 大場 康 議

公共施設等総合管理計画
について

問 計画の進め方について伺う。

答 計画では全ての公共施設を建物系施設とインフラ・プラント系施設に分け、平成29年度からの30年間で将来費用を約2232億円と試算している。建物系は施設保有量の適正化・長寿命化による建て替え時期の平準化で更新費縮減の目標を定め、インフラ・プラント系は個別施設計画を作り、進めていく。

セーリング世界大会
について

問 29年度に海陽ヨットハーバーで開催が予定されるセーリング世界大会について伺う。

答 テーザー級世界選手権は、7月30日から開催し、参加国数7カ国、参加



世界大会が開催されるセーリング競技

艇数80艇が見込まれる。セーリングワールドカップは、10月15日から参加国数約30カ国、参加艇数370艇が見込まれる最大規模の大会である。会場周辺でのイベント開催や地元産品の販売等のおもてなしを通じ、蒲郡の魅力を発信していく。

都市基盤の整備について

問 国道247号バイパスは、29年秋に開通する予定と聞かすが、4車線化について、どのように考えているのか。

答 バイパス全線の4車線化は必要と考え、機会があるごとに事業主体である県に要望を行っている。県からは、暫定供用開始後に事業評価を実施し、優先度等を検討していくと聞いている。

問 大型客船の寄港を想定した、蒲郡ふ頭11号岸壁の延伸工事の概要と今後の工事予定を伺う。

答 地盤改良、マウンド造り成等を行った後、岸壁本体であるケーソンの据えつけ、上部工を行う。ケーソンを30年1月頃に据えつけ、30年7月までには50m分の延伸を完了させたいと、事業主体の県から聞いている。

蒲郡自由クラブ
代表 広 中 昇 平

まち・ひと・しごと創生
総合戦略の成果は

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの成果をどのように評価しているか。

答 総合戦略では重要業績評価指標を設定しており、その達成状況を年度ごとに検証して進捗管理を行っている。平成27年度の実績として、産業振興施策により、宿泊観光客数、観光入込客数、創業件数は26年度より大きく数字を伸ばした。28年度の実績値はまだ出ていないが、地方創生加速化交付金を活用し、みなとオアシスエリアの環境整備を行い、その後Sea級グルメ全国大会等を開催した。また、三河港蒲郡地区開港50周年に合わせて帆船やクルーズ客船の誘致を行い、観光拠点としての港を活用することができた。

特色ある市民病院づくり
について

問 より特色ある病院づくりのために、地方公営企業法の全部適用など、市民病院の経営形態の見直しについて、どのように考えているのか。

答 全部適用により、事業管理者に組織の運営や体制の構築に関する権限が



患者さんに対して、最善の医療を行う市民病院

運転免許証の
自主返納促進について

問 高齢者が加害者となる交通事故死亡事故が増えていく。そこで、高齢者の運転免許証自主返納を促進するため、返納者に電動アシ

全て委譲され、医療政策などに迅速に対応できる。反面、不採算部門を担う公立病院にどこまで責任を持たせるべきか疑問がある。当面は他の公立病院の事例を研究しながら、現在の経営形態を継続したいと考える。